薬剤管理指導料および薬剤総合評価調整加算等の算定向上に向けた取組みの成果検証、および地域医療機関への意識調査のため、当院に入院された患者さんの診療報酬情報および地域医療機関のアンケート回答データを用いた研究に対するご協力のお願い

第2.0版　2026/9/8

研究責任者
所　　属：　薬剤部
氏　　名：　有野　徹

このたび当院では上記の患者さんおよび地域医療機関の皆様を対象にした研究を、当院の臨床研究倫理審査委員会の承認ならびに院長の許可のもと倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。

患者さんのプライバシー保護については、以下を遵守します。

1）本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、患者番号、診療報酬情報、病歴、処方歴のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
2）本研究で取り扱う情報は、個人情報および施設名をすべて削除し、第３者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
3）患者さんの個人情報と、匿名化した診療報酬情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
4）なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

ご自身の情報（または地域医療機関のアンケート回答データ）の提供など、本研究への協力を望まれない患者さん、および地域医療機関の皆様は、その旨を問い合わせ先に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

対象となる方

2024 年 10 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に、当院に入院し、治療を受けた方
2025 年 9 月 1 日から 9 月 30 日の間に、当院が日常の業務改善および地域連携の実態把握を目的に実施した「入院時持参薬の処方内容変更に係るアンケート」にご回答をいただいた地域医療機関（456 施設）

1. 試料・情報の利用目的及び利用方法

近年、物価高や人件費高騰の影響により病院経営は厳しさを増してきております。当院薬剤部では、薬剤師による服薬指導や薬学的管理を通じて病院経営に貢献する施策を推進してきました。また、ポリファーマシー（多剤併用）は、有害事象のリスク増大や医療費増大の一因となるため、この対策も推進しています。本研究では、当院薬剤師によるこれらの活動の成果を検証します。これにより、薬剤師の介入が病院経営に与える影響を評価するとともに、質の高い薬物療法の提供体制を構築することを目的とします。
さらに、当院が実施しているポリファーマシー対策や処方変更提案について、地域医療機関の皆様がどのように受け止め、どのようなニーズがあるかを明らかにするため、2025 年 9 月に業務の一環として実施したアンケート調査の回答結果（既存データ）を二次利用し、その受容性と連携上の課題を多角的に評価します。本研究の成果は、学会発表や論文発表に利用します。

2. 研究で使用する試料・情報の項目

電子カルテに登録されている、診療報酬情報、病歴、処方歴、および、2025 年 9 月に実施した「入院時持参薬の処方内容変更に係るアンケート」の回答データ。

3. 試料・情報の利用を開始する予定日

当院院長による実施許可日　～　2027 年 3 月 31 日

4. 試料・情報の提供を行う医療機関の名称及びその長の氏名

提供なし。

5. 利用する試料・情報の取得の方法

既に当院で保有している試料・情報を使用しますので、本研究のために新たな取得は行いません。

6. 本研究の責任者名及び所属医療機関名

東京都済生会中央病院　薬剤部　有野 徹

7. 試料・情報の利用する者の範囲

東京都済生会中央病院　薬剤部　有野 徹

8. 海外へ試料・情報を提供する場合

この研究では外国へ情報を提供しません。

9. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

東京都済生会中央病院　薬剤部　有野 徹

10. 試料・情報の利用停止を希望する場合

あなたの情報（または地域医療機関のアンケート回答データ）を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡先は、問い合わせ先をご確認ください。

11. 問い合わせ先

東京都済生会中央病院

薬剤部　有野 徹

TEL：03-3451-8211（代表）